



明日の青梅のために!!

島崎 実 後援会報

No7

平成29年1月20日発行

島崎 実後援会事務所
〒198-0063

青梅市梅郷6-1511

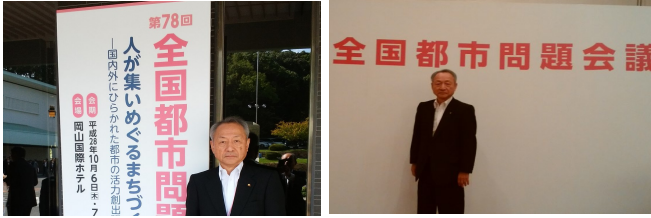
TEL 0428-76-0358

E-Mail info@minoru-kai.com



明けましておめでとうございます。旧年中は様々ご支援・ご協力を頂き、誠に有難うございました。お陰を持ちまして、条件付ではありますが、梅郷と和田地区で梅の再植樹が実現しました。梅の里再生に向け、第一歩を踏み出しました。私は梅の里再生のみならず、青梅市の抱える様々な課題に真摯に取り組み続けます。本年も変わらぬご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

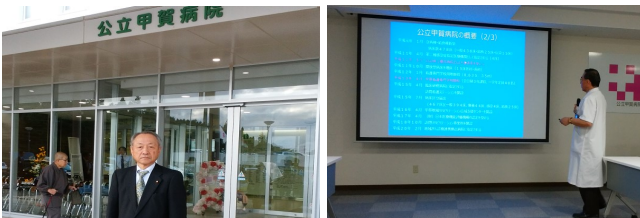
(10/6~7)岡山で開催された全国都市問題会議に参加しました。



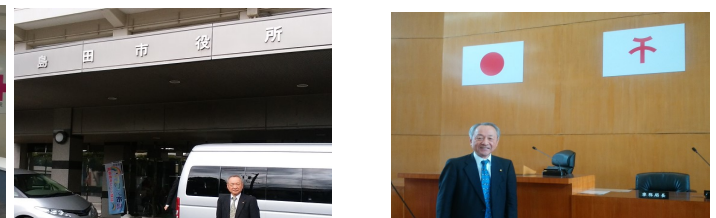
(10/12)都立多摩高校で梅輪紋ウイルス(PPV)の特別授業を参観しました。



(11/1~2)総合病院建替検討特別委員会で二つの病院を視察しました。
(公立甲賀病院(滋賀県)にて)



住民投票条例視察のため岸和田市役所を訪問しました。



◎条件付きではありますが、梅郷と和田地区で梅の再植樹が実現しました。国の検討会で、限定的ながら再植樹が可能となり、11月23日梅の公園で植樹式が実施されました。式典後青梅5小の子供たちとともに植樹しました。(12/19)中道梅園に20本の成木を植樹しました。



(12/15)吉野梅郷観光協会からの梅樹14本を大聖院(写真)、他6か所に植樹しました。



◎(10/22~11/26)吉野(梅郷)地区6ヶ所にて、市政報告会を実施しました。その他地域の後援会員の皆様には、議員活動報告をお送りしました。(6丁目自治会館にて)



「議会報告No7」

◎12月定例議会は12月2日から6日の一般質問、7日・8日に常任委員会、12日の補正予算審議、全員協議会を経て、16日の本会議で補正予算を含む市長提出全議案を可決成立させ終了しました。

○補正予算の主要なものは、①国の第二次補正予算で決まった、臨時福祉給付金支給事業経費に関わる案件や、②先の台風9号による見舞金等災害被害による各種手当等であります。

◎11月30日と12月13日に総合病院建替検討特別委員会を開催しました。

○特に12月13日の会議では、先に視察した甲賀病院(滋賀県)・島田市民病院の建築手法・コスト等を参考に、取り入れるべきは取り入れ、より精緻な計画とするよう活発な議論がなされました。

◎12月12日の全員協議会では下記の項目が示されました。

- (1) 青梅市公共施設等総合管理計画(原案)について
総務大臣通知に基づく、今後40年間のインフラを含めた施設管理計画の原案です。
- (2) 介護保険法改正に伴う新しい総合事業について
介護予防・日常生活支援サービス事業対象者→平成29年1月よりサービス事業者を指定します。
- (3) 臨時福祉給付金の支給について
対象者は平成28年度分の市民税が課税されていない方。1人につき15,000円の支給です。見込み者数は約23,600人(17,600世帯)、受付期間は平成29年3月1日～6月30日。
- (4) 梅郷・和田町地区における梅の再植樹について
条件付きで再植樹を可とした、国の28年度第2回ウメ輪紋ウイルス対策検討会の概要説明。

◎一般質問では ①橋梁からの飛び込み自殺防止施策について、及び
②小中学校児童・生徒の学力向上につて(当選以来通算3回目)質問しました。

- (1) 橋梁からの飛び込み自殺は、警視庁管内で青梅警察署が突出して多いことから、同署も憂慮しており、青梅警察署の全面的な協力を得て質問を行い、関係先への働きかけを行っています。
- (2) 学力向上については、前2回の質問より深く、かつ具体的に施策の内容を質問しました。具体的には7項目について、施策の定着と問題点について、教育長の見解を質しました。

私の質問

市長答弁

「橋梁からの飛び込み自殺防止施策について」

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) 飛び込み自殺はこの5年間で70件。内、神代橋、万世橋(奥多摩町)、奥多摩橋の上位3橋で計30件。この状況を、市長はどう捉え、認識するか？ (2) 本市で直ぐにできる対策として、JR青梅線の各駅に、「気づいて いのちの大切さ」の看板をJRと協議し、設置すべき。奥多摩町管内では設置済みで、効果を上げている。 (3) 神代橋の欄干の高さは120cm、奥多摩橋は110cm。国の設置基準110cmは超えているが、この基準は転落防止が目的で、自殺は想定外。他県の実績から155cmへの嵩上げで自殺が減少した例がある。防犯カメラには抑止効果がある。神代橋・奥多摩橋に、欄干の嵩上げと防犯カメラの設置を西多摩建設事務所に要請すべきだ。 (4) 自殺防止を目的に、行政と橋梁管理者を軸に、警察・消防・保健所等関係機関による協議会を作り議論したらどうか？ | <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成23年からの5年間で、青梅署管内の自殺は274件で、内、65件が橋梁からの飛び込み。率は2割を超え、非常に多いと考える。「自殺は防げる、防がなくてはいけないもの」と認識する。 (2) 本年は「自殺防止週間」に合わせ、青梅警察署と協力し、自殺防止ポスターを各駅舎に掲示した。市独自の看板については、設置に向け、既に東京都と補助金を含めた協議を開始しました。 (3) 自殺防止を目的とした欄干の高さについては、明確な基準がない。管理者である西多摩建設事務所によれば、神代橋・奥多摩橋の欄干の高さは基準を満たしている。しかし、市としても、これらの橋にはハード面での対策が必要と考えることから、西多摩建設事務所に欄干の嵩上げ等について協議してまいります。カメラの設置につきましては、事例等について研究課題とさせていただきます。 (4) 協議会については、健康増進計画推進会議を活用する。橋梁からの自殺防止対策については、東京都や青梅警察署等、関係機関と調整していく。 |
|--|--|

私の質問

教育長答弁

「小中学校児童・生徒の学力向上について」

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業参観への保護者の参加が少ないとの印象がある。祖父母を含め複数で参観する家庭がある一方、一人も来ない家庭もあるとのこと。どう対応していくのか？ (2) 登録する児童・生徒が少ないこと、子供の学力にバラツキがあること、指導員の確保等の問題点を改善し、サタデースクールを実効あるものにすべきではないか？ (3) 子供達が自主的・主体的に学習に取り組まなければ、学力の向上は望めない。子供達一人一人の個性に即し、主体的に学習するように指導することが必要ではないか？ (4) 上記施策についての見解に併せ、今後の学力向上に向けての決意を求めます。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 土・日・平日を含めた、複数日程の検討とともに、授業内容も検討する。授業参観は学校教育を理解する点で重要。一人も来られない家庭については、家庭訪問等も行い、参加を促進します。 (2) サタデースクール登録者数は対象者の5.8%。学力の高い者もおり、一部会場では学力の実態に応じた指導をしている。効果的な取り組みの情報共有等でスクールをより有効なものとする。 (3) 学力調査において、東京都平均を目指し5カ年計画で学力の定着を図ることに力を入れて来た。今後は子供達の学習に臨む主体性や、個々の自信を付けさせることにも力を入れて行きます。 (4) 健康で笑顔あふれる子供達を育てる方策を関係者の意見を取り込みながら、推進してまいります。 |
|---|---|